

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	第2ワイワイキッズLabo			
○保護者評価実施期間	R8年2月1日		～	R8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数)	49
○従業員評価実施期間	R8年2月1日		～	R8年2月28日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月20日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別の療育を基本にしているため、一人一人に合った丁寧な支援を行うことができる。また、その日の子どもの様子によっても柔軟な対応ができる。	・来室時に保護者にお子さんのその日の様子や最近の様子を聞くようにしている。 ・面談以外にも日々の様子を聞き、支援に生かしていくとともに、保護者の悩みに寄り添いながら家庭との連携を図っている。	・今後も保護者とのコミュニケーションを継続してとっていき、職員間の情報共有もしっかり行っていく。
2	6ヶ月毎のモニタリングを丁寧に行っている。また、モニタリングに限らず、保護者が相談したいことがあった時には時間をとって相談できる環境を整えている。	・健康観察シートに面談希望の有無を記載する欄を設けており、保護者が相談したいときに遠慮なくスタッフに伝えられるようにしている。 ・保護者との送迎時に1対1で話すことができるので、ニーズや相談事がないかを確認するようにしている。	・今後も健康観察シートの確認、送迎時の対応を丁寧に行い、保護者が相談したいときに相談できるように努めていく。
3	小集団で行うSSTの時間を取り入れており、友達との関わり方を学んだり、ルールのある遊びなどを通して集団の一員として過ごすスキルを身に付けられるように支援している。	・子どもの実態に合わせた教材を用意し、必要に応じて間に入りながら子ども同士のコミュニケーションが充実するように支援している。 ・自分の気持ちや考えを伝える機会を設けて、相手に伝える経験や、相手の話を聞く経験を積み重ねられるようにしている。	・内容がマンネリ化してしまうことがないように、適切な課題で子ども自らが進んで楽しく取り組むことができるよう内容を再検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	茶話会に実施を2回実施し、保護者同士の交流の機会を設けたが、実施したことが全員に周知できていない。	・茶話会のお知らせは保護者全員に公式LINEや掲示物で一斉にお知らせしているが、保護者が気づきにくく、集まりにくかった。	・今後も公式LINEや掲示物を使ってお知らせしていく。送迎時に個別の声かけも行い、参加の有無にかかわらず、茶話会で保護者同士の交流があることを周知していけるようにする。
2	避難訓練などやっていることが保護者に伝わっていないことがある。	・避難訓練については玄関に掲示をして送迎時に実施することをお伝えしてきたが、保護者の印象には残っていない。	・引き続き保護者の方に伝えるように、送迎時の声掛けや掲示をしていく。
3	自己評価結果を見ていただけていないなど、ホームページを閲覧してもらえていない。	・公式LINEを使って自己評価結果については閲覧していただけるようお知らせしたが、周知しきれていなかった。 ・昨年度ホームページを更新し、支援プログラムなど詳しく載せたが、改めて見ていただくことができていなかった。	・通い始めて長く利用していただいている家庭にも、送迎時に改めてホームページを閲覧していただけるように声をかける。